



まつもと しんた
庄原市口和自治振興区
移住定住地域マネージャー
松本晋太

移住のお手伝いをする理由

移住の目的は人それぞれだと思いますが、住む場所を変える訳ですから、なにかしら目的があります。その一方で、移住後の地域との関わりのなかで、自分の目的一辺倒ではうまくいかないこともあるでしょう。しかし、移住するのであれば積極的に地域の一員になり、地域の元気に貢献したいものです。そして、そのためのつなぎ役がいれば心強いです。

ぼくの場合は、「田舎が元氣な社会はいい社会、田舎を元氣にしたい」という思いと、「自分でできることは自分でしたい」という欲望を満たす場として田舎を選んだのが、移住の目的でした。

移住先を探すなかで、福島から口和に移住してふくふく牧場を営む福元ファミリーと知り合うことで、口和とつながり、移住への展望が開けました。その後、当時の口和自治振興区の事務局長、地域マネージャーに、地域や大家さんとのつなぎ役から細かいことまで散々お世話になり移住することができました。特に、このお二人の存在はとても大きかったです。

その後も地域のみなさんにお世話になりながら、楽しく暮らしています。簡単なことのように書きましたが、だから口和は移住者が多いのです。

そんな、口和に少しでも恩返しをしたい、口和の先輩達のように移住者と地域をつなぐお手伝いがしたいと思い、微力ながら地域マネージャーをさせて頂いています。そのなかで、地域紹介の冊子はよくあるけれど、移住そのものの手引きが少ないことに気づき、この冊子を作りました。移住先がどこであれ幸せな移住が増えることが目的ですが、できれば口和に来てもらえると嬉しいです。

ひとりでも多くの方が、この冊子を読んで田舎への移住の一步を踏み出し、元氣な田舎が増えることを楽しみにしています。まずは、なんでもご相談ください。

〈松本家紹介〉 2014年 庄原市に移住

仕事 自営業 兼 口和自治振興区地域マネージャー
家 空き家を賃借中
家族 妻、子ども3人 ヤギ2頭
車 ミニバン1台 軽乗用車1台

空き家の情報は

しょうばら 空き家バンク

〈庄原市自治定住課〉



口和マップ

GUIDE MAP



移住実績

2012年~2022年



33件



90人

(内訳) おとな59人、子ども30人

の方が**移住**されています!!
さらに移住後**9人**の子どもが生まれました。

移住に関するご相談は

口和自治振興区

TEL.0824-87-2213 FAX:0824-87-2135
<http://kuchiwajichi.com/>

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉934-4 庄原市口和自治振興センター

〈自治振興区とは〉…自治会など、地域に生活する人が参加し、地域社会の維持発展を目的とした組織です。

この先の世界をより楽しく暮らすための

移住の手引き

広島県庄原市
口和町 **発!!**

移住者・松本晋太による
田舎暮らしの秘訣



Facebook



Instagram



Webサイト

#口和が好き
庄原市 口和自治振興区

移住くはじめの3ステップ

1 行ってみる

移住に関する情報はスマホの中だけではありません。例えば地産地消や地域おこし系のイベントです。移住者によるお店も多く、そこでの縁から移住の話が進展することもあります。まずは行ってみる、会ってみる。ここからはじまります。

口和Point

口和では、地域のお祭りやマルシェ、朝市などのイベントや、お食事と地域産品のモーモ一物産館、温泉と宿泊にキャンプの鮎の里などの観光交流施設があります。口和自治振興区や地域の方も、SNSやホームページで情報を発信していますので、「#口和が好き」で検索してみてください。



2 つながりをつくる

さあ、気になる地域が見つかったら、次はつながりをつくりましょう。地元の人や移住の先輩とつながることで、さまざまな情報が得られて、その先の展望が開けます。直接会ってお話すると、パンフレットにはないことを知ることができます。また、移住後の暮らしでは、最初の出会から地域とのつながりが広がることがたくさんあります。

口和Point

口和では、口和自治振興区が窓口になって、地域の案内や移住相談を受けています。移住者との交流で実際の体験談を聞いてみよう！



3 そして深める・知る

移住までには、つながりを深め、地域をよりよく知るための「観光以上・移住未満」な時間が必要です。何度か通うのもいいですが、しばらく滞在して、その地域の一日の時間の流れや風景の移ろいを感じると、より一層移住のイメージが膨らみますよ。

口和Point

口和には、「庄原暮らしお試し体験施設 くちわの家」があるので、ここに滞在して地域を知ったり、空き家を見て回ることができます。しばらく滞在することで、移住の具体的なイメージをふくらませてください。



移住く気になるポイントアドバイス

トイレについて

空き家のほとんどが汲取りです。水洗にするには、下水道がある場合を除き、合併浄化槽の設置が必要です。設置には市町村の補助が受けられます。

口和Point

口和には下水道は通っていませんが、分担金30万円と設備工事費で庄原市の合併浄化槽を設置できます。月々の下水道料金を支払うことで利用できます。

防災について

気になるのは、豪雨による災害の可能性です。近年は、過去にない降り方をしますので、「これまで崩れたことがない」が通用しなくなりつつあります。各地で土砂災害警戒区域の指定が進んでいます。指定の状況については、「土砂災害ポータルひろしま」で調べられます。

口和Point

口和自治振興区では、地域の状況についてより詳しくわかる、オリジナルの「防災マップ」を作成しています。

水について

何を差し置いても水源の確認はしっかり行いましょう。井戸水、湧き水など自然の水で暮らしたいものですが、水質に問題があったり、井戸が枯れていたたり、ということもあります。

口和Point

口和では上水道が通っている地域とそうでない地域があります。

家のこと

移住先には理想を求めてしまいがちですが、理想通りの住処に出会うのは難しいのが現実です。どこかで妥協が必要ですが、住み始めてから環境を変えていくのも楽しみのひとつです。ここでは、家とその周辺についてポイントとなることを紹介します。

契約（買う・借りる）について

移住するには家を買うか借りの必要があります。その際には、後々のトラブルを避けるためにも、契約が重要になります。

口和Point

口和自治振興区では、契約について各専門家をご紹介します、しっかりサポートします。

建物について

空き家の状態はさまざまですが、ほとんどはどこかしら手直しが必要です。特に、水回りは大規模な改修が必要になる建物も多くあります。

口和Point

口和では各自治会の空き家対策調整委員さんが、地域の空き家情報の収集や移住者と地域をつなぐお手伝いをします。

地域について

移住とは、住む場所を移すだけでなく、地域の一員になることです。地域には、自治会、消防団、お祭り、お葬式、学校や保育所のことなど、いろいろな役割があるので、結構忙しいですが、積極的に参加することで地域のことをよりよく知り、たくさんのつながりができますよ。

口和Point

口和でも、自治会、消防団、学校、保育所等で役割があり、ご近所でお葬式のお手伝いもします。口和自治振興区では、地元とのつながりづくりや情報提供を通して、スムーズに地域に溶け込めるようサポートします。

仕事について

田舎では、人手不足や高齢化のため実は結構求人があります。若い世代が少ない会社もあり、その会社の将来の担い手となるようなやりがいを見つけることができるかもしれません。また、起業も選択肢のひとつです。これからは、稼げ方や働き方の変化や多様化が予想されますから、田舎ならではの起業がおもしろくなりそうです。

プライスレス

例えば、田舎で出費が少なく済むのは食費でしょう。自分で畑を楽しんだり、ときにはご近所からお野菜を頂くこともあります。ここで大切なのは、そこで手に入る野菜が、スーパーで売っているそれと比べて鮮度と熟度ははるかに高いということです。流通しているものの多くは未熟なまま収穫します。その野菜の本当の美味しさを実感できる。田舎には、このようにお金に換算できない価値がたくさんあります。

草刈りについて

素敵な田舎の風景も、人の手によって守られています。なかでも、草刈りは重要な作業です。梅雨から夏までがハイシーズン。草刈り後にシャワーを浴びてからのビールが♪

暮らしのこと

移住後の地域とのつながり、仕事、お金など、暮らしづくりの基本的なポイントをお伝えします。

お金について

田舎は物価が安いと言われますが、家、車、学費などは日本全国だいたい一緒です。また、車での移動が基本になるので、その維持費も掛かります。大切なのは、なにを大切に、どんな暮らしをするか。価値観を見つめなおし、ライフプランを立ててみることで、移住生活がより充実したものになります。一歩踏み出す勇気と、必要最低限の慎重さが移住成功の秘訣です。わからないこと、聞きづらいこと、ご相談にのります。